

# 2023年 第2回 一橋大本番レベル模試 地理

## 採点基準

全3問 120分 150点満点

### I (50点)

#### 採点基準

問1 (基準の合計11点→9点満点)

\* 農業生産性向上を目的とした当時の政策 (基準の合計15点→8点)

〔当時の政策①〕生産責任制が導入された 3点

- ・ 「生産責任制」は「生産請負制」「農家請負制」「農家経営請負制」も可

〔当時の政策②〕人民公社が解体された 3点

- ・ 「人民公社」を「集団農場」と記述した場合は2点

〔当時の政策③〕集団農業が廃止された 3点

〔当時の政策④〕食糧/食料買上価格の引き上げが行われた 3点

〔当時の政策⑤〕(農業の)多角経営/多角化が奨励された 3点

\* 当時の政策の結果生じた変化 (基準の合計6点→3点)

〔農業経営の変化〕農家の自由度が高まった 3点

- ・ 「市場原理が導入された」「収益を自由に任せた」なども可

〔農民の生産意欲の変化〕(農民は)生産/勤労意欲を高めた 3点

問2 (基準の合計16点→15点満点)

\* 寄与率の特徴 (基準の合計4点→4点)

〔寄与率の特徴①〕(1990年以前は)年ごとの変動が激しかった 2点

- ・ 「前年との差が大きい」「不安定である」など変動が大きいことが分かれば広く表現を認める

〔寄与率の特徴②〕(1991年以後は)年ごとの変動が緩やかになった 2点

- ・ 「前年との差が小さい」「安定している」など変動が小さいことが分かれば広く表現を認める

\* 寄与率の変動に差異が生じた背景 (基準の合計24点→12点)

〔1990年以前の企業形態〕国有企業 3点

〔1990年以前に工業政策が与えた影響〕(工業)政策の影響が大きかった/大きく受けていた 3点

〔1991年以後の企業形態①〕外資系企業 3点

- ・ 「外資系企業」は「先進国の資本」「海外企業」なども可
- ・ 「私企業」など抽象的な表現は2点

〔1991年以後の企業形態②〕郷鎮企業 3点

〔1991年以後の社会経済的背景①〕(外資系企業は)対外開放政策に伴い進出した 3点

- ・ 「輸出加工区が設置された」「経済特区が設置された」など具体的な政策を挙げて可

- [1991年以後の社会経済的背景②] (郷鎮企業は) 農村の余剰労働力を吸収して成長した 3点
- [1991年以後の社会経済的背景③] (社会主義) 市場経済の原理の下で成長した 3点
- 「中央集権的でなくなった」など間接的な表現は 2点
- [1991年以後に工業政策が与えた影響] (工業) 政策の影響が小さくなった 3点

問3 (基準の合計 18点→13点満点)

\* 失業率の変動が最も小さい地域 (基準の合計 3点→3点)

[失業率の変動が最も小さい地域] E 3点

- E以外の解答の場合, 論述部分に点数は与えない

\* 1990年前後のEの状況 (基準の合計 3点→3点満点)

[1990年前後のEの状況] 開発が遅れていた/外資の受け入れが少なかった 3点

- 「開発が遅れていた」は「未発達であった」「発展から残されていた」という表現も可

\* 失業率の上昇が抑えられた理由 (基準の合計 18点→12点)

[当時の政策] 西部大開発が進められた 3点

[西部大開発の目的] (西部大開発の目的は) 沿海部/沿岸部との格差を是正する 3点

[西部大開発の具体的内容①] インフラの整備 (が行われた) 3点

- 「インフラの整備」は「交通基盤の整備」「(主要) 道路の建設」「空港の建設」も可
- 「チンツァン (青蔵) 鉄道の建設」「西気東輸/西東ガスパイプラインの建設」「西電東送の推進」「南水北調の推進」など具体的な表現も可

[西部大開発の具体的内容②] 資源開発 (が行われた) 3点

- 「タリム盆地 (シンチャンウイグル自治区) での天然ガス田の開発」「西気東輸/西東ガスパイプラインの推進」など具体的な表現も可

[西部大開発の具体的内容③] 産業の育成 (が行われた) 3点

- 「産業の育成」は「農業基盤の強化」「観光業の振興」など具体的な表現も可

[西部大開発の結果] (西部大開発により) 労働需要/雇用機会/就労機会が増加した 3点

問4 (基準の合計 15点→13点満点)

\* 失業率の変動が最も大きい地域 (基準の合計 3点→3点)

[失業率の変動が最も大きい地域] B 3点

- B以外の解答の場合, 論述部分に点数は与えない

\* 失業率が著しく悪化した理由 (基準の合計 21点→12点)

[Bの特徴①] (Bでは) 原料指向型/内陸立地型の工業が発達していた 3点

- 「アンシャン付近に鉄鋼コンビナートが形成されていた」「アンシャンの鉄鉱石/フーシュンの石炭を背景とした工業が盛んであった」など工業形態について一般化されていない表現の場合は 2点
- 「鉱業が盛んであった」「炭鉱が多かった」など工業形態と地名の両方に言及していない場合は 1点

[Bの特徴②] (①の工業は) 国有企業として発達していた 3点

[当時の国有企業の状況①] 独占的な市場を失っていた 3点

- 「経営が悪化していた」も可

- 〔当時の国有企業の状況②〕（社会主義）市場経済が導入された 3点
- 「外資系企業／郷鎮企業が成長した」も可
- 〔当時の国有企業の状況③〕（国有企業は）余剰人員の削減を行った 3点
- 「経営の合理化を図った」も可
- 〔当時の国有企業の状況④〕経営の再建／安定化を目指した 3点
- 〔人員削減による労働需要の変化〕労働需要／雇用機会／就労機会が減少した 3点

## II (50点)

### 採点基準

問1 (基準の合計 37点→20点満点)

- [郊外化の要因①] (都心部の) 地価が上昇/高騰した 3点
- [郊外化の要因②] (都心部の) 住環境/生活環境が悪化した 3点
- [郊外化の要因③] 都心部/大都市圏/都市へ人口が集中した 3点
- [郊外化の要因④] 不動産/住宅需要が増加した 3点
- ・ 「住宅数が不足した」も可
- [郊外を志向する人々の特徴] 子育て世帯 3点
- ・ 「核家族」「ファミリー層」など若年層主体の世帯であれば広く許容する
- [郊外を志向する理由①] 広い家/一軒家を求めている/持ち家志向である 2点
- [郊外を志向する理由②] (郊外は) 公園/レジャー施設/自然環境が多い 2点
- [郊外を志向する理由③] (郊外は) 治安がよい 2点
- [利便性の向上①] 都心部への近接性が上がった/アクセス性が高い/アクセスがよい 2点
- ・ 「時間距離が短縮された」も可
- [利便性の向上②] 通勤/通学の利便性が増した 2点
- [利便性の向上の背景①] モータリゼーション/車社会化が進行/進展した 3点
- [利便性の向上の背景②] 鉄道網/交通網/公共交通機関が発達した 3点
- [郊外化が生じた地域] 都市の周縁部/外縁部に移住した 3点
- ・ 都心部から離れていることが分かれば広く許容する
- [郊外化が生じた地域の特徴] 地価が低い/安い 3点

問2 (基準の合計 18点→15点満点)

\* 人口の都心回帰が生じた理由 (基準の合計 18点→12点)

- [住宅の価格] (都心部の) 住宅価格が下落した/下がった 3点
- [土地の価格] (都心部の) 土地の価値/地価が下落した/下がった 3点
- [住宅の供給] (地価の低い場所で) 集合住宅/(高層) マンション/高層住宅が増加した 3点
- [住宅の供給に変化が生じた理由] バブルが崩壊した 3点
- [都心に回帰してきた人々] 生産年齢(人口)/若年層 3点
- [都心回帰の結果] 都心部の人口が増加した 3点

\* 地震発生時に生じると想定される問題 (基準の合計 12点→6点)

- [人口急増に起因する問題①] 避難所/医療機関が不足する 3点
- ・ 「情報通信サービスへアクセスが集中する/通信障害が発生する」も可
  - ・ 公共サービスを十分に享受できないことが分かれば広く許容する
- [人口急増に起因する問題②] 一度に多くの人々が被災する/避難に時間を要する 3点
- [都市開発に起因する問題①] 液状化(現象)/浸水が頻発化する/生じやすい 3点
- ・ 地震の二次災害として適切な具体例であれば可
- [都市開発に起因する問題②] 停電時に住民が孤立しやすい/断層上に位置するため被害が大きい 3点

- 都市／土地開発により新たに供給された住宅の弊害と考えられる問題であれば可

問3 (基準の合計 19 点→15 点満点)

\* ジェントリフィケーションが生じている地域 (基準の合計 4 点→4 点)

[地域] ①②／①③／②③／③①／③②／②① 各 2 点, 計 4 点

- ①②③のうちから 2 つを選んでいけば可
- 「①⑤」「⑦②」など片方のみ正答の場合は 2 点
- 3 つ以上の地域を選んでいる場合, 点数を与えない

\* ジェントリフィケーションが生じていると判断した理由 (基準の合計 12 点→9 点)

[表から読み取れること①] 人口増加率が高い 3 点

[表から読み取れること②] 高所得者／1000 万円以上の世帯の割合が高い 3 点

[表から読み取れること③] 高齢者／65 歳以上人口割合が低い 3 点

- 「生産年齢 (人口) ／20～39 歳人口の割合が高い」も可

[表から読み取れること④] 高層住宅／高層マンションが多い 3 点

\* 選んだ地域の空間変容 (基準の合計 12 点→6 点)

[空間変容前①] 低層住宅が多い 3 点

- 「低層住宅」は「一軒家」「アパート」「団地」などでも可

[空間変容前②] 中小企業／工場が多い 3 点

[空間変容後①] クリアランス／高層建築への建て替えが行われた 3 点

- 「高層建築」は「高層住宅」「高層マンション」「オフィスビル」なども可

[空間変容後②] 垂直的な利用が拡大した／高層建築が増加した 3 点

- 「高層建築」は「高層住宅」「高層マンション」「オフィスビル」なども可

### Ⅲ (50点)

#### 採点基準

問1 (基準の合計 30点→18点満点)

- 〔円相場が大きく変化した理由①〕 (日本からアメリカ合衆国へ) 自動車が大いに輸出された 3点
- 〔円相場が大きく変化した理由②〕 (アメリカ合衆国では) 貿易赤字の状態が続いた 3点
- 〔円相場が大きく変化した理由③〕 日米貿易摩擦の解消 (を目指した) 3点
- 〔円相場が大きく変化した理由④〕 (契機として) プラザ合意があった/円高になった 3点
- 〔日本の自動車産業の変化①〕 自動車の輸出が不利になった/難しくなった 3点
- 〔日本の自動車産業の変化②〕 人件費が高騰した 3点
- 〔日本の自動車産業の変化③〕 日本国内で生産しなくなった/現地生産が増加した 3点
  - ・ 「工場/生産拠点を海外へ移した/移転した」でも可
- 〔日本の社会に起きた変化①〕 (地方では) 雇用が減少した/失業者が増加した 3点
- 〔日本の社会に起きた変化②〕 (地域) 経済が衰退した 3点
- 〔日本の社会に起きた変化③〕 産業の空洞化が生じた 3点

問2 (基準の合計 21点→14点満点)

- 〔自動車産業の特徴①〕 (アメリカ合衆国において) 自動車は輸入額が大きい 3点
- 〔自動車産業の特徴②〕 (自動車産業は) 貿易赤字の原因である 3点
- 〔自動車産業の特徴③〕 (自動車産業は) 労働集約的である 3点
- 〔自動車産業の特徴④〕 多くの下請企業/関連会社が関わっている 3点
  - ・ 「自動車産業は裾野が広い」など携わる関係者が多いことが分かれば広く許容する
- 〔自動車産業の特徴⑤〕 (関連企業も含め) 多くの雇用を生む/雇用機会が多い 3点
- 〔重点を置く理由①〕 (自動車産業の不振により) 多くの失業者が生まれる/失業率が高まる 3点
  - ・ 「国内から自動車工場が移転する」など国外への移転に関する表現でも可
- 〔重点を置く理由②〕 (自動車産業の不振により) 不況を招く/経済に悪影響を及ぼす 3点

問3 (基準の合計 36点→18点満点)

- 〔中間財が海外で生産される理由①〕 (中間財を) 安価に生産できる 3点
  - ・ 立地因子全体で「生産費を安く抑えられること」が分かれば広く許容する
- 〔中間財が海外で生産される理由②〕 (海外は) 人件費が安い/低賃金労働者が多い 3点
  - ・ 労働費において「安価な労働力」に言及できていれば広く許容する
- 〔対策①〕 調達先/生産拠点を分散する 3点
  - ・ 「単一メーカーに頼らない」など依存度を下げることが分かれば広く許容する
- 〔対策②〕 中間財を標準化する/規格化する 3点
- 〔対策③〕 (①②により) 中間財の流れを円滑にする/中間財を調達しやすくする 3点
- 〔対策④〕 (生産拠点を) 自国に戻す/国内に回帰させる/リショアリングする 3点
- 〔対策⑤〕 (④により) 国内生産を強化する/国内供給体制を整備する 3点
- 〔対策⑥〕 (④により) 自国市場の需要変化に迅速に対応できる 3点
- 〔対策⑦〕 情報通信技術/ICT/データを活用する 3点

- 「生産を自動化する」などデータの活用先を述べても可

〔対策⑧〕（国が）経済的にサポートする／補助金を交付する／資金を投入する 3点

- 「（企業が）補助金を利用する」など企業目線の表現も可

〔対策⑨〕 国家／組織／企業間の連携を強化する 3点

〔対策⑩〕（⑨により）開かれた供給体制を整備する／閉鎖的でない経済体制を構築する 3点

- 連携強化により目指すべき体制として適切であれば広く許容する